

平成 25 年 9 月 吉日

第 583 回 宮城産科婦人科学会集談会

【日時】平成 25 年 10 月 12 日（土）

第 40 回 日本産婦人科医会学術集会

【日時】平成 25 年 10 月 12 日（土）、10 月 13 日（日）

【場所】江陽グランドホテル(両日共に)

仙台市青葉区本町二丁目 3-1 TEL:022-265-2252

プログラムにつきましては裏面をご参照下さい。

日本産科婦人科学会専門医制度研修証明シール・日本産婦人科医会研修参加証は、
12 日、13 日の両日ともに発行致しますので、ぜひご出席下さい。

* 日本産科婦人科学会専門医制度研修証明シール・日本産婦人科医会研修参加証を発行予定です。

* 日本医師会生涯教育講座認定を各日 5 単位付与する予定です。

共催：宮城県産婦人科医会／第 32 回統合産婦人科研究合同セミナー

【今後の予定】

- ・ 11 月 30 日（土）第 584 回 宮城産科婦人科学会集談会
- ・ 12 月 21 日（土）第 585 回 宮城産科婦人科学会集談会

第40回日本産婦人科医学会学術集会・宮城県大会

担当：東北・北海道ブロック 開催地：宮城県仙台市 大会会長：中川公夫

メインテーマ：今、伊達な魅^み知^ち国^{のく}で。 ～産婦人科から復興に向けての提言～

会期：平成25年10月12日(土)・13日(日)

会場：江陽グランドホテル(仙台市青葉区本町二丁目3-1 TEL:022-265-2252)

学術集会参加費：事前登録10,000円(ご家族・初期研修医・学生無料)

当日参加費12,000円

※総懇親会参加費：10,000円(事前申し込みが必要です。)いずれの参加申込 締切日 平成25年8月31日(土)

大会プログラム

平成25年10月12日(土)

受付 11:30～12:30

開会式 12:30～13:00

会長講演 13:00～13:45 「周産期のメンタルヘルスケアと児童虐待の予防」

日本産婦人科医学会会長 木下勝之

教育講演 13:50～16:40

第1会場-1. 「広域地域における若手産婦人科医教育の体制確立に向けて」

-2. 「妊娠と糖代謝異常」

-3. 「妊娠中の尿蛋白について」

-4. 「胎児心電図の基礎と今後の展望」

第2会場-5. 「婦人科がんの現状と今後～特に卵巣がん～」

-6. 「腔式手術の現状と未来」

-7. 「男性不妊とその要因」

-8. 「不妊症治療に関する最近の話題」

北海道大学教授 櫻木範明

東北大学教授 杉山隆

北海道大学教授 水上尚典

東北大学教授 木村芳孝

岩手医科大学教授 杉山徹

札幌医科大学教授 齋藤豪

旭川医科大学教授 千石一雄

秋田大学教授 寺田幸弘

指定講演 16:50～18:10

第1会場-1. 「オフィスギネコロジーの収益評価から見た現状とこれから」

日本産婦人科医学会医療経営委員会委員長 小関聡

2. 「産婦人科女性医師・現状と問題点」

日本産婦人科医学会常務理事 中井章人

第2会場-3. 「性犯罪被害の現状と被害者支援に対する産婦人科医学会の活動」

日本産婦人科医学会常務理事 安達知子

-4. 「産科医、小児科医、助産師、保健師でサポートするHTLV-1母子感染対策」

富山大学教授 齊藤滋

総懇親会 19:00～21:00 江陽グランドホテル(仙台市青葉区本町二丁目3-1 TEL:022-265-2252)

(必ず、事前の申し込みをお願いいたします。)

平成25年10月13日(日)

三題断ワークショップ『地震・産婦人科・ICT』9:00～12:00

1. 「大地震が周産期医療に与えたインパクト」

東北大学教授 菅原準一

2. 「大震災は女性の保健医療システムにどう影響したか」

東北大学教授 伊藤潔

3. 「災害時の乳幼児栄養と母乳育児支援」

仙台市立病院産婦人科部長 渡辺孝紀

4. 「福島県の妊産婦の現状と放射線影響」

福島県立医科大学教授 藤森敬也

5. 「宮城における地域医療介護情報連携」

東北大学教授 中谷純

6. 「岩手県で私たちが取り組んでいる周産期地域連携 ―負けない理想郷 いーはとーぶを日指して―」

岩手県立大船渡病院副院長 小笠原敏浩

7. 「セクタード(みやぎ産婦人科医療情報ネットワーク協議会)」

宮城県産婦人科医学会常任理事 松永弦

ランチョンセミナー 12:00～13:00

第1会場 「産科医療からみた脳性麻痺の問題点」

宮崎大学教授 鮫島浩

第2会場 「妊娠中後期の胎児スクリーニングから新しい超音波診断技術まで」

岩手医科大学教授 菊池昭彦